



にゅーすれたーふじやま・長泉



2012. 11

コーチャー50周年エイジフリー10周年

パナソニックエイジフリー介護チェーン

パナソニックとの契約(2002年12月8日)から早いもので10年の歳月が流れようとしています。おかげさまで毎日楽しく仕事をさせていただいています。製造業でこういう事業を立ち上げようとは社長も私も考えていませんでした。きっかけは、2002年のある日「松下電工でこんな仕事をやっているが、高齢化社会に必要なだからコーチャーさんも手掛けてはいかが?」と取引のあるコンピューター会社からお話をいただきました。グッドタイミングでした。私もオムツやペットシートを製造しているのに、社内にお客様の声が届くシステムがない現状に疑問を抱いていたからです。同時にヘルパーの資格を取れば何かのお役に立てるかもと思い始めた頃でもありました。ちょうどコーチャー創業40年でした。

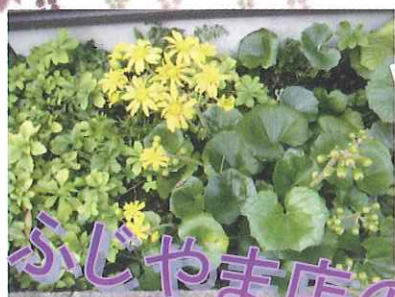
私は入社以来、総務(人事、労務関係)はじめ、会社全体の管理をしてきて、第一種衛生管理者の資格を活かし、安全衛生委員会や職場巡視等も実際に行っていました。それらを全部他に任せて飛び出したのです。(その後は総務担当者や社長までもが資格を取得して支えてくれました)無謀なことをしたものだづくづく思います。土地選びからなので銀行や不動産業者との折衝等に明け暮れました。一番不安だったのが福祉業務の経験がないことでした。人の採用に苦慮し、東京の施設まで行って人材を口説いたこともあります。最初の社員は現在は長老格となった富士宮担当の加茂です。吉原に仮事務所を設け、たった3人からのスタートです。素人の加茂がケアマネさんから初仕事をいただいた時は涙を流して喜びました。

翌年8月8日瓜島町に「ふじやま」をオープンさせました。開店祝いの席がどんなにエアコンを効かせても汗が止まらないほど暑い日だったことを覚えています。土地探しから始め、店舗建設、備品調達、商品仕入れなどの苦労を経てオープンにこぎつけ、それからの3~4年間は辛く苦しいことの連続でした。しかしそれら全部が今では楽しい思い出となっているのが不思議です。人間感じ方ひとつだと思いました。マザーテレサが「助けてくれる人だけが恩人ではない、意地悪したりいじめたりした人も恩人だ*」と言っています。大好きな言葉です。人生長く生きていくとわかる言葉だと感じます。*反面教師

秋になり、ふじやまの花壇にはツワブキのピカピカの緑の葉に黄色の花が実を付け、その根元にはフッキソウが顔をのぞかせています。道を歩く人たちの心を和ませたいと箱根恩賜公園をまねて植えたものです。コーチャー50周年、エイジフリー(福祉事業部)は10周年、節目です。「やさしさをもうひとつのかたちに」の“思い”の実現へ向け、新たなる胎動が始まっています。

渡邊啓視

シルバーケアも朝早くから
積み込み作業をしています。



ふじやま店の花壇

